

書籍のご案内

# ICT



## 授業を変える!と、 学びが深まる!

### ICT研究の第一人者と現場の先生がタッグを組んだ! 音楽科教育の明日を変える、画期的な一冊です。

音楽科の授業に初めて“ICT”を導入しよう!やってみよう!と考えている先生方に、入門書としてオススメです! ICTを「学校」現場でどう使うか、どうすれば音楽の授業をより魅力的に、楽しく面白くできるのか、を写真とともにわかりやすく掲載。しかも、機器の接続のやり方から段階的に説明するので、初心者でも安心。環境整備の申請から、プログラミング教育と音楽科との親和性まで、いま“求められている”内容がこの一冊につまっています。

授業実例を  
写真で  
わかりやすく  
紹介!



ICT環境を整備する  
ために必要な機材や  
接続機器の説明も  
丁寧!

接続端子の名称	特徴など
D-sub 15pin (Rコ)	液晶モニター、プロジェクタ (従来型)
USB Type-A	プリンタ、スキャナ
USB Type-C	プリンタ、スキャナ、アダプタ等
LAN	ルーター、モデム等

学校行事で  
欠かせない  
発表会やコンサートでの  
活用方法が  
満載!

2 ICTで音楽行事が変わる ～子どもたちの音楽にICTが花を添える～

「校内音楽会」や「音楽会」のよな音楽科が関わる学校行事でも、ICT機器を用いることによって、演奏を補助したり、演出を加えたりして、観客を子どもたちが生み出す音楽に引き寄せる効果が期待できます。

今まで、このような音楽行事での演奏の演出や手助けは、教師や子どもの手作業によって行うことがほとんどでした。例えば、音楽会の「くくりプログラム」を手書きで作ったり、歌う曲の歌詞を大きな紙に手書きしたり、会場設備のためのイラストを手作りで制作したり……といった感じでした。このような制作物は、とても時間がかかる、細かいものではありましたが、音楽の演奏の質の向上にかかる時間とは異なり、大変努力のかかる作業でもありません。教師の働き方改革や、授業内容の精選を取り決まらなければならない「音楽会の向上」以外努力はなるべくかけないように努力することが求められていると思います。

ICT機器を用いて行う場合でも、それは教師の多少の労力は必要かもしれませんが、しかし、一度データをつくってしまえば、繰り返し修正して使える、紙の制作物のように劣化しませんから、音楽行事を実施する際の教師や子どものさまざまな負担を軽減する、今の時代の流れに即した活用方法であると言えます。

授業・行事・事務作業…etc シーン別用途に対応



▲ 地域の学校の音楽の様子 (スチール用にはデュアルスクリーンが設置されている)





学校教育において、さまざまな授業場面でコンピュータや情報通信ネットワークなどのICT活用を図ることが求められているが、全教科の中でICTを活用した実践例が最も少ないのが音楽科です。本書ではこれまでの音楽科教育を尊重しつつ、これから授業や行事などでICTをどのように活用すればよいのか、具体的な事例を挙げて分かりやすい文章で、かつ、段階的にその方法を紹介します。また、ICTの環境整備の現状と今後の展望や、小学校のプログラミング教育と音楽科教育の展望についても取り上げます。

より楽しく!

より面白く!

より効率的に!

目次

巻頭言  
はじめに

序章 ICTとは?

- 1 ICTは何の略?
- 2 学校とICT
- 3 情報活用能力
- 4 学校におけるICT環境の整備
- 5 学習者用デジタル教科書とデジタル教材
- 6 音楽室におけるICT

第1章 音楽の授業で使えるICT機器 ～21世紀型の音楽室を創造する～

- 1 大型モニター
    1. 黒板の代替物としての「大型モニター」の可能性
    2. 大型モニターの活用方法
    3. 大型モニターと機器を接続する
    4. 大型モニターを活用する際の留意点
  - 2 教師用パソコン
    1. 教師用パソコンの活用方法
    2. 教師用パソコンを活用する際の留意点
  - 3 タブレット端末
    1. タブレット端末の大いなるポテンシャル
    2. 主体的・対話的で深い学びを促す、新しい「教具」
    3. タブレット端末の活用方法
    4. タブレット端末を活用する際の留意点
    5. タブレット端末アプリケーションのジレンマと未来
  - 4 書画カメラ(実物投影装置)
    1. 書画カメラ(実物投影装置)の活用方法
    2. 書画カメラを活用する際の留意点
  - 5 その他の機器
    1. 「デジタルオーディオプレーヤー」「ICレコーダー」の活用方法
    2. 「Bluetoothスピーカー」の活用方法
    3. 「ドキュメント・スキャナー」の活用方法
- コラム1 音楽科におけるICT活用の歴史

第2章 ICT活用の提案 ～教科を変革する新たな取り組み～

- 1 ICTで授業が変わる ～授業を支える新たな「教具」の可能性～
  1. 授業全般におけるICT活用
  2. 「歌唱」分野におけるICT活用
  3. 「器楽」分野におけるICT活用
  4. 「音楽づくり」分野におけるICT活用
  5. 「鑑賞」分野におけるICT活用

コラム2 ICTを活用した実践紹介
- 2 ICTで音楽行事が変わる ～子どもたちの音楽にICTが花を添える～
  1. 「音楽会」でのICT活用
  2. 「音楽集会」でのICT活用
  3. 「ミニコンサート」でのICT活用
- 3 ICTで教科の仕事が変わる ～ICTを活用した効率的な教科事務～
  1. 音楽科で使う書類・楽譜の電子化
  2. 書類・楽譜ファイルの効率的なデータ管理方法
  3. 評価にICT機器を活用する

第3章 ICT活用の課題と展望 ～21世紀型の音楽科教育～

- 1 音楽室のICT環境を改善するために
  1. 自治体や学校によって格差が大きいICT環境整備
  2. 後回しにされがちな音楽室のICT環境整備
  3. ICT環境の整備が動き出した
  4. 音楽の先生もまず一歩を踏み出そう
  5. BYODへの理解を求めよう
- 2 プログラミング教育と音楽科
  1. プログラミング教育導入の理由とそのねらい
  2. プログラミング教育とは
  3. プログラミング教育における音楽科の位置付け
  4. 音楽とプログラミングとの親和性
  5. 音楽科での取り組み例
  6. 音楽科におけるプログラミング教育を進めるために
- 3 これからの音楽科教育とICT活用
  1. ICTの特性や強みを生かす時代へ
  2. 他教科の動き
  3. ICT活用のメリット
  4. 教師の授業技術としてICT活用を位置付ける
  5. タブレット端末の教具としての可能性
  6. 先生方に期待すること

おわりに

著者ホームページにも  
情報を掲載しています! →



小梨貴弘「明日の音楽室」



深見友紀子オフィシャルサイト

◎ご注文は、この用紙を切り取りお近くの書店・楽器店にお持ちください。または、ネット書店でもご注文いただけます。

キリトリ線

(取扱店名・帳合)	注文数	年 月 日	<div style="text-align: right; background-color: red; color: white; padding: 5px;">好評発売中!!</div> <b>音楽指導ブック</b> <b>音楽科教育とICT</b> 深見友紀子・小梨貴弘 著 冊 B5判・本文96頁 【定価】本体2000円+税 【ISBN】978-4-276-32172-4
	ご住所 〒	お名前	

※ここに記入された個人情報に関して、無断で第三者に開示することはありません。

お申し込み：FAX 03-3235-2148



音楽之友社 Tel 03(3235)2151(営業)